

令和3年8月25日（水）

第8回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和3年8月25日(水) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 長谷川浩子
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 木下登志子
教育総務部次長兼学校教育課長 鈴木与志実
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統
総務課長 森田 康宏 教育研究所長 遠藤 美香
生涯学習部参事兼鳥の博物館長 丸山 正晃
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
指導課長兼小中一貫推進室長 佐々木祐子
少年センター長 齋藤絵里香 図書館長 宇賀神 修
6. 欠席事務局職員 な し

午後2時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和3年第8回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。村松委員にお願いします。

諸 報 告

○丸教育長 日程第2、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項がありましたらお願いいたします。

まず初めに、緊急事態宣言下における第2学期開始に向けての対応について、飯田教育総務部長お願いします。

○飯田教育総務部長 第2学期開始に向けての決定事項について報告します。第2学期を9月1日から開始とし、緊急事態宣言が発令されている中でも、4つの事項を徹底して通常通りの学校生活を維持していくこととします。

1点目、基本的な感染症対策の再徹底。学校生活において密集・密接・密閉の3密の回避、マスクの適切な着用や手洗いなど感染症対策の徹底をするよう注意喚起します。マスクについては、熱中症の危険性も鑑み、適宜対応して適切に着用していきたいと思えます。

2点目、体調不良時等は自宅での休養を徹底する。児童生徒、教職員ともに、家族内で体調不良者がいる場合も登校を控えること。家族内でPCR検査を受検した者がいる場合、その結果が出るまでは登校を控えること。小中学生とも家庭内での感染割合が高い状況であり、8月中は、前日に家族がPCR検

査を受検していたにも関わらず、学校の部活動に参加し、家族内感染により陽性になったことで市独自のPCR検査を行うという事例が数件あったため体調不良時などの自宅での休養を徹底するよう注意喚起します。

3点目、登校時の健康観察の徹底。登校時、教室に入る前に昇降口での健康カードのチェックを教職員が確実にを行います。学年で登校時間を変えて密を防ぐなど、チェックを確実に行うように工夫し、登校後に体調不良を訴えた場合は、保護者と連絡を取って早退をさせるという対応をとります。

4点目、部活動。部活動の朝練習は当分の間、中止とします。なお、8月28日（土曜日）から9月12日（日曜日）の緊急事態宣言中の午後練習と休日の練習も中止とします。朝練習を中止にすることで、登校時の健康観察の徹底を充実させていきます。

修学旅行や林間学校等の校外学習の実施については、1学期に緊急事態宣言が旅行先等で発令されていることによって、2学期以降に延期した学校もありますが、今回また校長会等で話し合いを行い、旅行先や我孫子市を含む地域に緊急事態宣言が発令されている場合は延期または中止とします。各学校の状況や旅行地の状況によって、宿泊数が減ったり、日帰りに変更する学校がある場合は代替の旅行を実施する計画を立てていきます。旅行先や我孫子市を含む地域が、まん延防止等重点措置が適用されている場合については、感染状況を注視して、旅行業者等に確認を取りながら再検討します。

なお、1学期に延期が確定している学校で、延期の料金が発生していますが、保護者等の経済的負担を軽減するという目的と併せて、修学旅行等の延期または中止に係る追加費用等補助金として9月の市議会で補正予算を計上しています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。1学期までは保護者から子どもに感染する事例が多かったですが、夏以降は子どもから保護者に感染する事例も何件か

あったため、特に健康観察は充実、徹底していくべきだと思います。ご意見等ありましたらお願いします。

○村松委員 9月の第3週目、第4週目に予定している中学校の体育祭は、どのような判断になりますか。

○鈴木学校教育課長 感染予防対策を講じたうえで、規模や時間を縮小し開催する予定です。また、3週目に予定している学校の中で延期を検討している学校が1校あります。

○蒲田委員 2学期からは学年で登校時間を変えて密を防ぐなどの工夫を行うとのことですが、具体的にはどのぐらい時間をずらすのでしょうか。

○鈴木学校教育課長 学校ごとの規模や校舎のつくり、人数の状況に応じて、各学校で学年ごとに5分、10分時間をずらして登校することで密を防ぎます。

○蒲田委員 登校時間をずらすことによって下校時間がずれることはありますか。

○鈴木学校教育課長 始業に間に合う範囲で登校時間をずらしているため、下校時間の変更はありません。下校時間については、低学年、高学年で下校時間も違うこと、学年が一緒になる場合には学校ごとに工夫して密を防いでいます。

○蒲田委員 分かりました。ありがとうございます。

また、家族内で体調不良者がいる場合は登校を控える場合や家族内でPCR検査を受検したものがいる時、その結果が出るまで登校を控える場合の欠席について、どのような扱いにするか教えてください。

○鈴木学校教育課長 本人の陽性、発熱、また家族の発熱、PCRの受検において登校を控える場合、欠席にはならず全て出席停止扱いとなります。

○蒲田委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにありますか。

○長谷川委員 家庭内でPCR検査を受検したものがいる時、その結果が出る

までは登校を控える場合について、親の職業によっては定期的にPCR検査を受検する方もいると思います。その場合はどのような対応をとるのでしょうか。

○鈴木学校教育課長 医療従事者のように定期的に行っている場合には子どもは休む必要はありません。発熱などの風邪症状に伴うPCR検査を受ける場合は登校を控えることとします。保護者へ本日メールお知らせし、9月1日には手紙で周知をする予定です。

○丸教育長 よろしいですか。

○蒲田委員 8月に入り感染者数の増加とともに、子どもの感染が増えてきている中で保護者の方から不安の声を耳にしますので、ご理解いただけるよう説明は今まで以上に丁寧をお願いします。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。

それでは、続きまして生涯学習施設のコロナ対応について、木下生涯学習部長、お願いします。

○木下生涯学習部長 緊急事態宣言期間の延長に伴う、8月21日から9月12日までの生涯学習施設の対応について報告します。生涯学習施設では、定期的なアナウンスや利用団体へ基本的な感染防止対策の周知を行い、利用者に注意喚起をしています。

公民館では8月21日以降の学習室の利用についてはマスクを着用して活動ができないものについては禁止します。アビスタ2階のフリースペース、図書館本館については7時半までの利用としています。

地域交流教室、学校開放については、学校活動に関わる子どもやPTAの団体のみの利用とし、一般団体の利用を21日から中止していましたが、部活動が中止になることに伴い、8月28日から9月12日まで体育館、校庭の両方とも利用を中止します。ただし、地域交流教室については、学校活動の延長と考えられる学童保育事業は、これまでどおり利用を可能とします。

市民体育館では、17日以降茨城県も緊急事態宣言の実施区域に入り、新規の登録者が急増したため、利用団体の新規登録を我孫子市在住・在学・在勤者に限定し、市内在住・在学・在勤以外の方の利用自粛を呼びかけています。

五本松のふれあいキャンプ場は、お酒の持ち込みの禁止、同居家族のみの利用の2つを守っていただくことを大前提にデイキャンプの予約を受け付けています。宿泊の予約で既に予約が入っている2、3件については、利用制限を承諾した上で利用を認めています。以前は緊急事態宣言期間以降の宿泊予約を受け付けていましたが、緊急事態宣言期間が延長になる可能性があるため現在は予約を受け付けていません。

9月12日までの利用制限内容については、現時点では以上のとおりです。感染者がいまだに減っていない状況なので、場合によってはさらなる利用制限も検討せざるを得ないかもしれません。

また、昨日市民体育館職員1名の新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されたため、市民体育館、市民体育館の事務所を介する屋外施設（市民体育館の庭球場、野球場、ゆうゆう公園のサッカー場、野球場）は昨日から当面の間、休館となっています。手賀沼公園のテニスコートと湖北台の野球場は影響がないため、利用可能です。今回の陽性者については、マスクはきちんと着用して、利用者と15分以上の接触はなかったと確認しています。厚生労働省の示す濃厚接触者等の候補となる範囲と照らし合わせてみても、利用者との濃厚接触は発生していないと考えられますが、濃厚接触者の有無や範囲の判断は保健所が行うため、今後の施設の対応については保健所の判断を待ちたいと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。各施設の対応について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○蒲田委員 アビスタ・コホミンの「マスク非着用での活動の禁止」とありま

すが、マスクを外した活動とはどのような事例があるのでしょうか。

○菊地生涯学習部次長 マスクを外した活動は、吹奏楽等です。合唱についても現在はマスクの着用をお願いしています。公民館内は現在、飲食禁止となっていますが、夏場のため、水分補給やお薬を飲む場合は可能としています。

また、アビスタの「喫茶ぷらっと」は飲食ができる場所ですが、県からも指導に2回来ていただき、現在の状況の中で飲食については、パーテーションの設置、人数制限等の感染症対策を講じたうえで、現在も飲食ができるようになっています。以上です。

○蒲田委員 ありがとうございます。図書館に来た小さなお子さんたちは、マスクの着用がなかなか難しい状況かと思うのですが、どのような対応をとっているのでしょうか。

○菊地生涯学習部次長 公民館に関しては、5歳未満の子どもについて、着用の強制はしていません。ただ、マスクを外して騒いでしまう子どもに対しては、その都度声をかけています。学習室の中だけだったらいいのですが、フリースペースや中央の通路ではできるだけ着用していただくようお願いはしているのですが、強制まではなかなかできない状況です。

○宇賀神図書館長 図書館も同様に、小さいお子さんに対してマスクの着用の強制はしていません。騒いでいるときには静かにしてもらうようにその都度お話ししています。

○蒲田委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかに意見、質問等がありましたらお願いいたします。

それでは続きまして、中学生広島派遣事業の報告について、佐々木指導課長、お願いします。

○佐々木指導課長 8月9日から11日に行われた我孫子市平和事業広島派遣について報告します。

出発前には各校代表の派遣中学生12名や市長、教育長はじめ参加者全員がPCR検査を行い、全員陰性の結果を受けて出発しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、広島平和式典への参列や平和記念資料館の見学等はできませんでしたが、現地でも感染症対策を講じながら各個所で見学を行いました。

9日は到着後、平和記念公園とおりづるタワーを見学しました。10日は多聞院で8時15分に鐘の音を聞きました。その後、前日の反省会での派遣中学生の希望を組み入れ、再度原爆ドームをゆっくりと見ました。その後、我孫子から持参した千羽鶴を奉納し、被爆体験講和の聴講、本川小学校平和資料館の見学をし、午後は宮島に行きました。11日には呉市の大和ミュージアムを見学しました。派遣中学生たちはそれぞれの場所で一生懸命メモを取ったり、写真を撮ったりしながら、戦争や核兵器の恐ろしさや平和の尊さについて考えを深めていました。また、3日間で互いの絆を深めていました。

広島派遣後、14日の我孫子平和祈念式典に参加し、今後は12月5日にけやきプラザで開催する平和の集いで派遣報告や小学生広島・長崎派遣中学生リレー講座に講師として参加し、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の尊さについて次世代に伝えていく予定です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。広島派遣事業の報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

台風の時期と重なってしまいましたが、広島へ行ったときは傘を一度も差すことなく見学することができました。広島市は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象区域にはなっていませんが、独自で緊急事態宣言を発出していたため、資料館など閉館しているところはありませんでしたが、事前に受け付けをしていた本川小学校の資料館を見ることができたので、貴重な体験をすることができたと思います。私にとってもすごく充実した派遣事業だったなと思っています。

ます。——よろしいですか。

続きまして、中学生の部活動の結果報告について、佐々木課長お願いします。

○佐々木指導課長 我孫子中学校水泳部、女子400m自由形と女子200m自由形に出場し、400mで県大会を通過し、関東大会で7位、200mで関東大会9位でした。女子400mフリーリレーでは、県大会を通過し、関東大会16位でした。続いて女子ソフトテニス部、団体戦では県大会で準優勝、関東大会では2回戦出場となっています。個人戦では、県大会で優勝と第3位という結果で関東大会へ出場しました。硬式テニス部の男子個人戦では、県大会を通過して関東大会の初戦まで行きました。

湖北中学校陸上部、3年女子100mで関東大会に出場しました。久寺家中学校体操部、3年生男子個人総合で県大会2位、関東大会に出場しました。湖北台中学校陸上部、男子走り幅跳びで県大会2位、関東大会に出場しています。湖北台中学校卓球部、男子個人戦で県大会ベスト16になり、関東大会に出場しています。

最後に、白山中学校水泳部、男子自由形50mと100mに出場し、50mで県大会1位、全国大会6位。100mでは県大会2位で全国大会へ進みました。

小学校では、新木小学校の吹奏楽部が県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、東関東大会に出場となっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。コロナ禍においても、子どもたちも大変頑張っているなという感想を持ちました。——よろしいですか。

それでは続きまして、小中学生のパラリンピック観戦について、佐々木課長、お願いいたします。

○佐々木指導課長 8月16日に行われた国際パラリンピック委員会、東京2020組織委員会、東京都、政府による4者協議を受け、千葉県においても学

校連携観戦については、共生社会の実現に向けた教育的要素が大きいことに鑑み、保護者等の意向を踏まえて、自治体等が希望する場合には、安全対策を講じた上で実施できることとなりました。我孫子市としても、千葉県のが会場が幕張メッセであること、屋内会場のため熱中症のリスクが低いこと、幕張メッセの駐車場を活用して子どもたちが直行直帰できる環境を整えたこと、子どもたちの入替えごとに座席を消毒するなどの配慮をして実施するとの連絡を受け、4者協議や千葉県の方針や対策等を踏まえ、観戦を実施することになりました。

観戦を希望する子どもたち、保護者の皆様に安心していただけるよう、会場との往復は大型バスにて直行直帰とし、1台の乗車定員を20名程度としています。また、各校の観戦席の間隔は広くとり、少なくとも学校の参加人数の4倍以上の観戦席が確保されています。先週より各校で希望者に参加の再確認を行い、今日現在321名の児童生徒、引率者52名が参加する予定です。25日にゴールボール、29日、30日にシッティングバレーボールを観戦します。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。いろいろなご意見のある中ですが、我孫子市としては、国また県の状況を踏まえて決行するという形で考えています。本人また保護者が希望するかどうかを最大限尊重し、行っていきたいと思っています。ご意見等ありましたらお願いいたします。——よろしいですか。

それでは最後に、志賀直哉邸跡書斎修復のクラウドファンディングについて、辻文化・スポーツ課長お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 志賀直哉邸跡書斎ですが、志賀直哉は大正4年から大正12年までの8年ほど我孫子に滞在し、『和解』、『城崎にて』や『小僧の神様』を書き、我孫子と深い関わりがあります。志賀直哉は、現在の緑雁明緑地に住んでいましたが、大正10年に落ち着いて執筆できるように今回修復する離れの書斎を造ったと伝えられ、志賀直哉が我孫子を去った後に、近隣の

住民のところに書斎が移築され、昭和62年に現在の場所に再移築されたという経緯があります。移築後、小規模な修繕をたびたび実施してきましたが、移築されてから約40年近い年数が経ち今年でちょうど100年になること、志賀直哉没50年という節目の年に当たるということで、少し規模を大きくして修復することになりました。歴史的建造物ということで、そのまま新しく直してしまうのではなく、もともと持っている建物の雰囲気や価値を減じないような形で直す予定です。

こちらのクラウドファンディング型ふるさと納税では、目標金額75万円7千円とし、9月1日から来年の1月5日までを募集期間とします。もし目標金額に届かない場合は、文化財保存基金を活用し、必ず修復します。また、うれしい誤算で目標金額を大幅に上回った場合は、白樺文学館で所蔵している志賀直哉の関係資料の修復やレプリカの作成など白樺文学館の所蔵品の充実に充てていきたいと考えています。

このクラウドファンディングを通じて、志賀直哉ファンの方々と協力して書斎を直すということに重きを置き、修繕にかかる寄付支援を受けるだけでなく志賀直哉をより多くの人に知っていただくことで白樺文学館の新たなファン層の拡張につなげていきたいと思えます。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

○長谷川委員 そのクラウドファンディング型ふるさと納税の寄付する金額の設定はどのようになっているのですか。

○辻文化・スポーツ課長 3千円から寄付できるようになっています。文化庁の文化財のクラウドファンディングのオンライン研修を受けた際、文化財に関しては、参加した人が文化財を直すために助けたことに非常に重きを置いているため、返礼品にはあまり重きは置いていないということを受け、我孫子市と

しては、3館共通チケットや、修復の過程を写真等で写して、簡単な報告書などをつけるということでお礼という気持ちとしたいと思っています。

○丸教育長 ほかにございますか。——よろしいですか。

これから事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いいたします。

○村松委員 先日開催された東京オリンピックのスロベニア代表チームの事前キャンプの受入れ準備とサポート等を文化・スポーツ課並びにスポーツ推進委員の方々が行っていただいたと前回の会議でお聞きしましたが、文化・スポーツ課として他にどのような関わりがあったかご報告をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 基本的にスロベニア代表チームの事前キャンプ、オリンピック関係については、秘書広報課と企画課を中心として受入れを整えています。文化・スポーツ課は、武道場に新たに柔道の畳をいれ、場所を提供したことでの関わりがありました。

今のお話を受けて、次回の会議でもう一度スロベニア代表事前キャンプの経過等含めてご報告します。

○村松委員 せっかくいい機会なので、何か記録に残ればと思います。よろしくをお願いします。

○丸教育長 ありがとうございます。ほかに質疑があればお願いします。

○蒲田委員 事務報告の15ページ、テーマトークについて、「鳥の剥製づくり見てみよう」が山階鳥類研究所の岩見研究員を講師としオンライン配信で、開催しましたが、280人の多くの視聴があり、手元も見やすくすばらしいテーマトークだったと思います。どんな様子だったかをお話してください。

○丸山鳥の博物館長 研究員が、すばらしい手際のよさで、きっちりと剥製を仕上げ、本当に見とれてしまうというコメントがいくつも寄せられました。当日は280人という多くの視聴があり、とても学術的なテーマを提供できたと

思います。

○蒲田委員 私も岩見さんの剥製づくりを2回、鳥の博物館で体験させていたことがあります。鳥の剥製づくりは、学術的なところがあり、今回多くの方に見ていただき、我孫子という小さなまちの博物館が発信していったというのは本当に素晴らしいことだと思います。これからもいろいろテーマトークをしていただきたいと思います。ありがとうございました。

○丸教育長 ありがとうございました。ほかに質疑等がありましたらお願いします。——よろしいですか。

それでは、事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いいたします。——よろしいですか。

ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いいたします。——よろしいですか。

ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 以上で令和3年第8回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後2時44分閉会